

令和4年度 厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「健康診査・保健指導における効果的な実施に資する研究（22FA1006）」
分担研究報告書

6. 国民健康保険における特定健診の実施率を向上させる施策要因の検討

研究分担者	古井祐司	東京大学未来ビジョン研究センター
研究協力者	横山芳乃	東京大学未来ビジョン研究センター
	中尾杏子	〃
	井出博生	〃

研究要旨

本研究では、保健事業の核となる特定健康診査・特定保健指導の効果を最大化する要素を抽出し、今後の制度設計に資することを目的とし、1年度は自治体における特定健診の実施率を向上させる観点から分析を行った。A県の35市町村国民健康保険を対象として、特定健診の実施率を上げる方法・体制に関する工夫を整理表に明記し、取組を6つのカテゴリー、47項目に分けて整理した。アンケート調査により35市町村の取組状況を把握し、特定健診実施率との比較分析を行った。その結果、市町村による取組状況と特定健診実施率との明確な関連を示す項目は一部であった。国保新規加入者に対して、加入手続きの際に健診の案内の「あり」の市町村は、「なし」に比べて健診実施率が5ポイント以上高くなっていた。また、健診会場までの移動手段を提供している（バスの配車等）場合には、提供していない市町村に比べて、集団健診実施率は11ポイント高かった。本研究を通じて特定健康診査の実施率に関する現場の工夫が明文化されたことで、知見の抽出につながった一方で、取組と特定健診の実施率に明確な関連を見出すのは困難であった。今後、取組に割り当てたカテゴリーの充実も含めて、情報を標準化していくことが重要と考えられる。行政的な意義としては、実施率を上げる現場での取組が明文化され、知見として共有されれば、市町村格差の是正や事業設計の負担軽減につながる。今回は1つの県での特定健診に関する試行であり、今後は他県や他の保健事業での検証を進めていく。

A. 研究目的

特定健康診査の実施率は特定健診制度の導入時から上昇したものの、近年は横ばいの状況になっている。また、今後は実施率の向上を通じて、住民や勤労者の健康課題の解決に資する事業設計とすることが求められる。

このような背景のもと、本研究では保健事業の核となる特定健康診査・特定保健指導の効果を最大化する要素を抽出し、今後の制度設計に資することを目的とする。1年度は自治体における特定健診の実施率（アウトプット）、2年度は職場の特定保健指導による健康改善（アウトカム）の観

点から分析を行う。なお、効果を最大化する要素を体系化する際には、事業設計や評価における保険者の業務負担軽減の視点を意識する。

B. 研究方法

(1) 対象

A県の35市町村国民健康保険

(2) 方法

- ①市町村国保の保健事業の担当者に研究の趣旨および概要を説明した。
- ②市町村が実施している特定健康診査の方法および体制について、それぞれの市町

村担当者が整理表に記載した。新型コロナ禍の影響を鑑みて、過去3年分とした。

- ③保健事業に精通する4名の専門家チームが整理表を確認し、実施率向上の視点から実施している取組をカテゴリー化し、県内市町村向けアンケート調査票を設計した。
- ④さらに、県内で実施率およびその伸びが大きい2市町と県庁にヒアリングを行い、整理表に記載された内容の理解を深め、市町村の現況に応じたアンケート項目（表現を含む）になるよう努めた。
- ⑤県内の市町村にアンケート調査を実施し、特定健康診査の実施率を向上させるための取組の実施状況について把握した。
- ⑥アンケート調査結果と特定健診の実施率を比較して、実施率を上げる可能性がある要素を検討した
（倫理面への配慮）

情報管理については関連の制度・ガイドラインを順守して行う。なお、本研究では、個人情報扱は扱わない。

C. 研究結果

（1）特定健康診査の方法および体制（整理表への記載）

県内のすべての市町村国民健康保険において、特定健康診査の実施率を向上させる目的で取組んでいる方法・体制について整理表に記載してもらった。その結果を整理したところ、取組内容は市町村で共通する要素が少なくない一方で、独自の工夫も見られた。

全国的に実施率が高いA県の市町村では、健診の周知や受診の勧奨といった一般的な取組に加えて、翌年度の健診に関する「受診意向調査」を実施しており、被保険者への意識づけにプラスの効果がある可能性がうかがえた。ただし、たとえば被保険者へのアプローチに関しては、自治会、健康推進員といった人的リソースを活用する市町村もあれば、電話、郵送を中心に働きかけているケースもあり、自治体の社会環境に応じた工夫がされていた。

（2）実施率を上げるために実施している

取組（専門家チーム会議、県庁および2市町ヒアリング）

整理表より抽出した県内市町村によるべ373の工夫を、専門家チームが業務フロー順に整理し、実施率向上の視点からカテゴリー化した。業務フローのうち、受診勧奨で最も多くの工夫（19項目）が見られ、次いで周知（10項目）に関わる工夫が多かった。この結果から、健診受診率向上に向けて、多くの市町村が受診勧奨業務を重要視していることが示唆された。

また、県内で実施率が高い2市町と県庁へのヒアリングにより、整理表に記載された内容を確認した上で、アンケート項目を作成した。

[カテゴリー]

- ・健診の周知（10項目）；対象、内容、方法（媒体・機会）、体制（地域資源との連携）
- ・受診の勧奨（19項目）；対象、内容、方法（媒体・回数）、体制（人員、委託）
- ・申し込み（4項目）；予約制、費用助成
- ・環境の整備（9項目）；健診の実施（日程、他検診等との同時実施）、受診支援
- ・業務の効率化（2項目）；情報管理（データ処理、他健診データ入手）
- ・その他（3項目）；マニュアル作成、人員補填、医師会連携

（3）市町村の実施状況（アンケート調査）

県内すべての市町村から回答を得た。

実施している項目をカテゴリー別にみると、「健診の周知」は、配布物やwebでの周知は8割以上の市町村で実施している一方で、自治会、商工団体、農協等と連携したPRや、住民が集まる機会（会議、健康教室等）に周知するのは、市町村による違いが大きかった。

「受診勧奨」を行う媒体に関しては、郵送はすべての市町村が実施しているが、電話による勧奨は3割程度、訪問は1市町村のみだった。

「申し込み」では、健診の費用助成や申込み制は9割以上の市町村が実施している一方で、集団健診の予約不要の採用は少なくなっていた。

「健診の実施」については、他の検診

(がん検診、人間ドック等)との同日受診や、40歳未満への健診(若年健診)はすべての市町村が実施しているが、個別健診の期間終了後に未受診者向けの集団健診日程を設けている、健診会場に託児所を設けているといった工夫の実施率は2割強であった。

「情報管理」として、職域健診やかかりつけ医で受診した健診等、他で受診した健診結果データを入手している市町村は1割強にとどまっていた。

「その他」では、委託業者と連携がとりやすくなる工夫をしている(マニュアルの作成、対象者名簿の準備等)市町村は8割以上、医師会と事業の進捗や課題に関して定期的に会議・意見交換をしているのは3割弱であった。

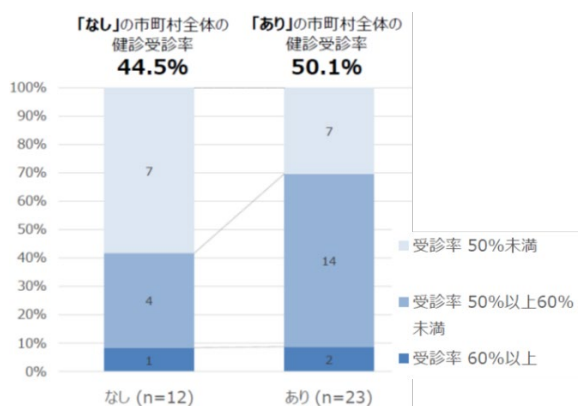
一方、実施している取組が実施率を上げる効果があったか否かについては、すべての項目で7割以上の市町村が効果ありと回答した。

(4) 特定健診実施率との関連(アンケート結果と特定健診実施率との比較)

アンケート調査による市町村の実施状況と特定健診実施率との関連分析では、明確な関連を示す項目は一部であった。

国保新規加入者に対して、加入手続きの際に健診の案内の「あり」の市町村は、「なし」に比べて健診実施率が5ポイント以上高くなっていた。

また、健診会場までの移動手段を提供している(バスの配車等)場合には、提供していない市町村に比べて、集団健診実施率は11ポイント高かった。



D. 考察

本研究を通じて特定健康診査の実施率に関する現場の工夫が明文化されたことで、知見の抽出につながった。

市町村へのアンケート調査結果から、整理表には記載されていない取組についても「はい」と回答するケースが少なくなく、これまで工夫と認識されていなかったが実際には実施していることがうかがえた(例; 健診受診意向調査について、整理表では4市町村のみが工夫として明文化されていたが、アンケートでは31市町村(88.6%)が実施していると回答)。健診受診意向調査は特長的な工夫だと考えられ、A県の特定健診実施率が全国平均と比べ高率であることの一因である可能性が考えられる。

その一方で、取組と特定健診の実施率に明確な関連を見出すのは困難であった。その背景として、実施率を向上させる要素は単一ではないことや、あらゆる取組が明文化されている訳ではない(暗黙知となっている)こと、市町村の社会環境・被保険者の特性・これまでの取組による実施率のベースラインに違いがあることが考えられる。

また、アンケート調査で、効果があったと思うか否かの質問については、すべての項目で7割以上の市町村が「効果があったと思う」と回答した。一方、これまでの他県を含めたヒアリングでは、実際の効果検証はしていない自治体が多く見られ、効果の検証をしていないにも関わらず、「効果がある」と思い工夫を継続している可能性も考えられる。

効果的な取組を一般化して記述するためには、事業における方法や体制を一定の形や粒度で記載し、伝達する必要がある。今回、取組に割り当てたカテゴリーの充実も含めて、情報を標準化していくことが重要と考えられる。

行政的な意義として、実施率を上げる現場での取組が明文化され、知見として共有されると、市町村格差の是正や事業設計の負担軽減につながると考えられる。

今回は1つの県での特定健診に関する試行であり、今後は他県や他の保健事業での検証を進める必要がある。

E. 結論

本研究により、特定健康診査の実施率に関する現場の工夫を明文化したことで、特定健診の実施率に関する知見が一部抽出された。

今後、保健事業に関する情報を標準化していくことで、知見が抽出されやすくなり、市町村格差の是正や事業設計の負担軽減につながる可能性がある。

F. 健康危機情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

古井祐司.標準予防を実現するデータヘルス.第60回日本医療・病院管理学会学術総会 特別講演,オンライン開催.2022

古井祐司.地域・職場を活性化するメタボリックシンドローム対策.第22回日本糖尿病情報学会 教育講演,オンライン開催.2022

H. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

特になし。

2. 実用新案登録

特になし。

3. その他

特になし。

資料1 整理表

●●市		保健事業カルテ												
事業名	特定健康診査													
背景	本市は県下の自治体の中で人口規模が大きく、特定健康診査対象者数260歳以上が最も多く、次いで40歳代、50歳代となっている。実施率は40・50歳代が最も高く、60歳代以下は低い。													
対応する健康課題	本市は1人あたりの健康増進費用が県平均に比べて高くなっている。 健診結果では高血圧の割合が若年が高く、運動習慣を有する割合が低いことから、健康意識の啓発と行動を促すことが必要である。													
事業目標	特定健康診査の実施率向上を通じて被保険者の健康行動を促し、健康増進・疾病予防を図る。													
指標No.	評価指標	目標値						実績値						
		2018 (R1)	2019 (R2)	2020 (R3)	2021 (R4)	2022 (R5)	2023 (R6)	2018 (R1)	2019 (R2)	2020 (R3)	2021 (R4)	2022 (R5)	2023 (R6)	
1	高血圧の割合 (健康増進率)			30%	30%	30%	30%	30%	32%	33%				
				30%	30%	30%	30%	-	-	15%				
				14%	16%	18%	20%	12%	12%	13%				
2	自己血圧測定している割合													
3	1日30分以上の運動習慣は有している割合													
指標No.	評価指標	目標値						実績値						
		2018 (R1)	2019 (R2)	2020 (R3)	2021 (R4)	2022 (R5)	2023 (R6)	2018 (R1)	2019 (R2)	2020 (R3)	2021 (R4)	2022 (R5)	2023 (R6)	
1	健診実施率 (実施率を測る指標)			44%	46%	48%	50%	40%	40%	42%				
				15%	25%	35%				1%	2.7%	3.3%		
2	健診実施率													
3	健診実施率													

2020年度		IR 県立中央総合医療センター Institutes for Future Initiatives						
2020年度の実施内容	対象者	方法	体制					
	特定健康診査対象者	広報紙、ポスターによる周知 ・受診券の交付 ・未受診者の抽出、勧誘ハガキの作成 ・集団健診の実施（5～6月の月・水・金の午前）、後日結果返却会の開催 ・個別健診の実施（9～2月）、結果票は郵送	広報紙、図書館、JA、コンビニ ・委託事業者 ・国民健康保険協会 ・保健センター（保健師3名、栄養士2名） ・健診は医師会会員、配達は委託事業者					
対応する指標No.	分類	やり方の工夫		工夫をした理由	良かった点・西別した点			
		1.2	a. 意識付け			健診当日に血圧が高い等に健診機関から血圧記録票を送り付けた。	高血圧者へアプローチしやすかった。	健診機関への周知が丁寧で、まだ主な健診機関での実施、していない。
		b. 行動実証支援	市が実施しているウォーキング・キャンペーンのポスターを健診結果票と同封紙、参加券とした。			これまで市の事業との連携が取れていなかった。	担当の保健衛生部署も前向きに協力してくれた。	
対応する指標No.	分類	やり方の工夫		工夫をした理由	良かった点・西別した点			
		1.2	b. 勧誘			未受診者を1・3年以上受診歴なし、40歳、3国民健康保険加入者の3層に分け、効果を検証した。	これまで受診勧奨しても効果が上がらなかった（わからなかった）。	未受診者の層別化、ハガキの作成を国民健康協会に委託できた。

資料2 特定健診受診率向上に関する専門家チーム会議

日時；2022年12月8日9:30-10:30

場所；東京大学、オンライン併用会議（ZOOM）

参加者；横山芳乃、上村晴子、中尾杏子、井出博生

1 整理表に記載された特定健康診査の方法および体制について

- ・市町村が記載した方法および体制については、特定健康診査等実施計画やデータヘルス計画に記載されている内容よりも具体的であり、現場の事業運営に関する取組の要素であると考えられる。
- ・市町村に共通した取組や独自の取組も見られることから、県庁や比較的实施率の高い市町村に内容（表現を含む）の確認や、明文化されていない取組がないか否かをヒアリングすることが望ましい。

2 アンケート調査票の設計について

- ・特定健診の方法および体制は業務フローに沿ってカテゴリ化すると回答しやすい（周知、受診の勧奨、申し込み、健診の実施等）。
- ・集団健診／個別健診ごとに業務のフローや取組が異なるので、冒頭に設問を設定する（利用者数／個別健診の実施医療機関数）。
- ・取組ごとに検証はしていないと思われるため、担当者の効果に関する感触（効果あったと思う／思わない）を把握する。
- ・健診の実施率に関わる人間ドック・職域健診など他健診データの入手状況も確認する。
- ・医療機関や商工会、農協など地域の社会資源との連携の有無も重要。

3 アンケートの実施について

- ・実施方法はweb形式が望ましいが、外部ネットワークに接続できない自治体が多いので、電子ファイル(excel,word)で送付し、回答済の電子ファイルもしくは印刷したものを返送する方法が回答しやすいだろう。県庁と要相談。

4 他県での参考事例について

- ・集団健診については、予約不要で受診率が高い自治体がある。
- ・集団健診／個別健診の併用方法は自治体によって異なる。
- ・受診意向調査の結果に応じた受診勧奨をしている自治体がある。意向調査は、電話勧奨時に未受診の理由を尋ねたり、ハガキで回答を得る方法もある。
- ・地区特性にもよるが、地区単位で受診勧奨を行って受診率が上がっているケースがある。
- ・若年層はかかりつけ医がいない人も多く、集団健診のほうが受診しやすい傾向がある。
- ・多くの人は前年度に受診した時期の前後に健診を受診する傾向があるようだ。前年度の受診日に応じた勧奨も有効かもしれない。

以上

資料3 山形県および2市町へのヒアリング

日時：2023年1月5日（木） 14：00～15：00

場所；オンライン会議（ZOOM）

出席者；A県2名、B市2名、C町2名/東京大学 古井祐司・横山芳乃・上村晴子

1 周知について

[意向調査]

B市；健診・がん検診の「受診意向調査」は全世帯を対象に毎年1月に実施。調査では、世帯構成員全員にどこで健診を受けるか意向を確認。以前は町会長が訪問回収していたが2年前から郵送に変更。回収率は低下したものの郵送でも回収率は8割。記入漏れがあれば電話で確認。意向調査で受診しないと回答した人には申込セット等は送付しないが、委託事業者から受診勧奨は実施。

C町；同様、意向調査を実施。受診の意向がない人には、年度途中で再度勧奨。有償ボランティア（健康推進員）が配布・回収。健康推進員は任期2年、年3回研修会を実施。

C町；意向調査の様式を改訂。以前は申し込みたい検診に○を付けていたが、改定後は申込みしないものに×をつける方式にした。受診率の向上に効果的と感じている。今後はSNSを使ったリマインドができるとうい。

A県；意向調査は県内の他市町村も実施している様子。

[対象]

C町；新規加入者へは国保窓口で特定健診のチラシを配布。健診を受けるのは当然と考える人が多く、逆に国保加入後はどこで健診を受けるか尋ねる人も多い。

B市；健診のチラシを国保窓口で配布。また、健診や医療機関の受診状況を委託事業者が分析し通知を配布。効果検証はできていない。効果はあるのはないかという印象。

2 勧奨について

B市；健診機関と委託契約を締結し、健診を申し込んだが受診していない人を対象に、健診機関から最大3回リマインド。健診機関からのリマインドは効果があると感じている。一度健診を申し込んだ人は受診の意思がある人。

B市；地区別に健診を実施。近所の人で声かけあって受診する文化もある（特に高齢者）。

B市；電話による受診勧奨はやっていない。規模的に難しい。

C町；最低2回は受診勧奨。1回目は受診前日に電話でリマインド。2回目は郵送で受診勧奨（委託事業者）した後に効果がありそうな人を限定して、保健師OBが電話で受診勧奨（対象は過去3年で1回は受診している人など）。

3 申し込みについて

B市；40-44歳には受診の定着を図るために無料クーポン券を配布。45歳以上は自己負担あり。

4 環境整備

[日程・時間帯]

B市；出勤前に受診できるよう早朝健診（8時までに受付）を実施。仕事や農作業を休みたくないう意識が強い。健診は4月～1月の期間に実施。

C町；集団健診では土日の実施がなくなり、個別健診のほうが融通きくので受診者が増えてきた。

[がん検診とのセット受診]

B市；特定健診を実施する健診機関は1か所。集団検診で実施。がん検診とセットで実施。土曜日にも実施。

C町；集団健診・個別健診両方実施だが、ほぼ集団健診。がん検診とセットで受診可能。当日に受診する健診を選べる。

5 その他

B市；市職員向けの業務マニュアルを整備。職員の引継ぎに活用。

C町；マニュアル等は特にはないが、担当職員以外でも対応できるように、朝礼等で業務内容を共有している。

以上

資料4 アンケート調査票

特定健診の受診率を上げるための工夫についてのアンケート

市町村名

I 集団健診および個別健診の概要についてお答えください。(令和3年度の実績値)

1 集団健診/個別健診の実施規模

①特定健診の対象者数 人

②集団健診の実施有無 あり なし

1 「あり」と回答した場合のみご記入ください

②-1 集団健診の受診者数 人

②-2 集団健診の日数 日

②-3 集団健診の箇所数 箇所

③個別健診の実施有無 あり なし

1 「あり」と回答した場合のみご記入ください

③-1 個別健診の受診者数 人

③-2 個別健診の実施期間 ヶ月 ※対象者によって実施期間を変えている場合は、平均的な期間をご記入ください。

③-3 個別健診の実施機関数 機関

2 主な担当課

II 特定健診に関する業務についてお答えください(令和3年度実績でお答えください)

※: 回答欄1-2は必須、回答欄1-1は回答欄1で「①はい」と回答した場合にご回答ください。回答欄2-2は回答欄2で「①効果があったと思う」と回答した場合、効果的だった内容、工夫している事項があればご記入ください。
 ※: その他工夫の詳細について教えていただける場合は、回答欄2-2へご記入ください。

No.	質問項目	回答欄1 (1つ選択) ①はい ②いいえ ③詳しくは ④詳しくは ⑤詳しくは	回答欄1-1 回答欄1で「①はい」と回答した場合は、 該当するものを選択してください	回答欄2 (1つ選択) ①効果があったと思う ②効果があったと思わない	回答欄2-2 (自由記載) 回答欄2で「①効果があったと思う」と回答した 場合で、効果的だった内容、工夫している事項 があればご記入ください
健診の周知					
1	健診受診意向調査を実施している	①はい	対象者全員を対象に実施していますか? *はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	①効果があったと思う	
2	健診についての情報をweb媒体(ホームページ、SNS等)で広報している	①はい	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他 ※その他の内容は回答欄2-2にご記載ください。(以下同様)	①効果があったと思う	
3	健診についての情報を配布物(市報、保健だより、健診ガイドブック等)で 広報している	①はい	<input type="checkbox"/> 市報・町内会報 <input type="checkbox"/> 地域保健だより <input type="checkbox"/> 健診ガイドブック <input type="checkbox"/> 個別通知 <input type="checkbox"/> その他 全戸配布ですか? *はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	①効果があったと思う	
4	健診について住民が集まる機会(会議、健康教室等)に周知している	①はい	<input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 健康教室 <input type="checkbox"/> その他	①効果があったと思う	その他: 出前講座
5	町内/市内に健診の案内や受診勧奨ポスターを配置している	①はい	<input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 役所 <input type="checkbox"/> その他	①効果があったと思う	その他: 新庄市保健センター
6	自治会、商工団体、農協等と連携してPRしている	②いいえ	<input type="checkbox"/> 自治会 <input type="checkbox"/> 商工団体 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他		
7	関係新規加入者に対して、加入手続きの際に健診の案内をしている	②いいえ	<input type="checkbox"/> 案内のみ <input type="checkbox"/> 申込みまで同時に行う		
8	健診に関するサービス内容を周知している(がん検診とのセット受診、受付 時間を区切って三密回避していることのアピールなど)	①はい		①効果があったと思う	
9	対象者のタイプ別に内容を変えた健診の通知を送付している	①はい		①効果があったと思う	
10	健診日程のリマインドをしている	①はい		①効果があったと思う	
受診勧奨(健診受診者の送付とは別に通知や電話などで勧奨しているものについてご記入ください)					
11	健診対象者全員に受診勧奨をしている	②いいえ			
12	健診申込者全員に受診勧奨をしている(例: 健診申込時に健診の受診勧奨の パンフレットを同封している)	②いいえ			
13	対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨をしている	①はい		①効果があったと思う	
14	対象者を絞って受診勧奨をしている	①はい		①効果があったと思う	
15	受診勧奨対象者を抽出するための分析・検証をしている	①はい		①効果があったと思う	
16	受診勧奨の成果の分析・検証をしている	①はい		①効果があったと思う	
17	電話による受診勧奨を行っている ※「②いいえ」と回答された方はNo.24の質問にお答えください	①はい		①効果があったと思う	
18	勧奨業務(電話)を外部委託している	②いいえ			
19	電話による勧奨は回数やルールの範囲を定めている	②いいえ			
20	電話勧奨する時間帯、対象者への効果や負担を考慮して設定している	①はい		①効果があったと思う	
21	電話勧奨する時間帯を、対象者の都合を考慮して設定している	②いいえ			
22	電話勧奨は保健師等の専門職が行っている	①はい		①効果があったと思わない	
23	電話勧奨は住民と馴染みがある自治体OB等が行っている	②いいえ			
24	郵送による受診勧奨(受診勧奨通知の送付)を行っている ※「②いいえ」と回答された方はNo.29の質問にお答えください	①はい		①効果があったと思う	
25	勧奨業務(郵送)を外部委託している	①はい		①効果があったと思う	
26	受診勧奨通知を2回以上送付している	①はい		①効果があったと思う	
27	受診勧奨通知を送付する時期を対象者への効果や負担を考慮して設定している	①はい		①効果があったと思う	
28	受診勧奨通知の内容を対象者の都合を考慮して設定している	①はい		①効果があったと思う	
29	訪問による受診勧奨を行っている	①はい		①効果があったと思う	糖尿病・慢性腎臓病重症化予防の訪問などで勧奨 している。
申込み					
30	健診を申込み制にしている	①はい	申込方法 <input type="checkbox"/> 受付 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 電子メール <input type="checkbox"/> web申込	①効果があったと思わない	
31	集団健診で予約を不要にしている	②いいえ			
32	健診申込者に健診セットを送付している	①はい	送付時期 <input type="checkbox"/> 申込直後 <input type="checkbox"/> 受診直前	①効果があったと思う	健診申込書で集団健診を申し込んだ場合、健診日 を早期に周知し、日程変更等調整ができるよう に、年度当初に一斉発送している。
33	健診費用の助成を行っている	①はい		①効果があったと思う	
健診の実施					
34	土日祝に健診を実施している	①はい		①効果があったと思う	
35	1人あたりの健診にかかる時間を短縮している	①はい		①効果があったと思う	
36	受診日の変更希望があった場合、柔軟に対応している	①はい		①効果があったと思う	
37	個別健診の期間終了後に未受診者向けの集団健診日程を設けている	①はい		①効果があったと思う	
38	各地区ごとに健診日程を設定している	②いいえ			
39	他の検診(がん検診、人間ドック等)も同日に受診できるようにしている	①はい		①効果があったと思う	
40	40歳未満対象の健診(若年健診)を実施している	①はい		①効果があったと思う	
41	健診会場までの移動手段を提供している(バスの配車等) ※過去にやっていたが現在は おこなっていない	①はい		①効果があったと思う	
42	健診会場に託児所を設けている	①はい		①効果があったと思う	
情報管理					
43	健診に関する情報管理の方法を工夫している(例: 集団健診・個別健診・人 間ドックのデータを迅速に処理する)	②いいえ			
44	職場健診やかかりつけ医で受診した健診等、他で受診した健診結果データを 入手している	②いいえ	入手した件数() 件		
その他					
45	委託業者と連携がとりやすくなる工夫をしている(マニュアルの作成、対象 者名簿の準備等)	①はい		①効果があったと思う	
46	繁忙期には業務に関する職員を増員している	②いいえ			
47	医師会と事業の連携や課題に関して定期的に会議・意見交換をしている	②いいえ			

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

資料5 アンケート結果

No.	回答欄1					回答欄2				
	①はい	②いいえ	③過去	回答市町村数	①の%	①結果があったと答へず	②結果があったと答へない	回答市町村数	①の%	
健診の周知										
1	31	4	0	35	88.6%	30	1	31	96.8%	
2	31	4	0	35	88.6%	30	1	31	96.8%	
3	35	0	0	35	100.0%	35	0	35	100.0%	
4	20	14	1	35	57.1%	18	2	20	90.0%	
5	13	21	1	35	37.1%	12	1	13	92.3%	
6	7	26	2	35	20.0%	7	0	7	100.0%	
7	23	12	0	35	65.7%	21	1	22	95.5%	
8	33	2	0	35	94.3%	30	3	33	90.9%	
9	11	24	0	35	31.4%	9	2	11	81.8%	
10	17	18	0	35	48.6%	17	0	17	100.0%	
受診動奨（健診受診票の送付とは別に通知や電話などで動奨しているも										
11	14	21	0	35	40.0%	13	1	14	92.9%	
12	19	16	0	35	54.3%	17	2	19	89.5%	
13	26	9	0	35	74.3%	23	3	26	88.5%	
14	28	7	0	35	80.0%	26	2	28	92.9%	
15	23	12	0	35	65.7%	23	0	23	100.0%	
16	27	8	0	35	77.1%	26	1	27	96.3%	
17	10	21	4	35	28.6%	9	1	10	90.0%	
※「②いいえ」と回答された方はNo.24の質問にお進みください										
18	5	9	4	18	27.8%	5	0	5	100.0%	
19	7	7	3	17	41.2%	6	1	7	85.7%	
20	7	7	3	17	41.2%	7	0	7	100.0%	
21	8	6	3	17	47.1%	8	0	8	100.0%	
22	8	5	4	17	47.1%	7	1	8	87.5%	
23	4	10	3	17	23.5%	4	0	4	100.0%	
24	35	0	0	35	100.0%	33	1	34	97.1%	
※「②いいえ」と回答された方はNo.29の質問にお進みください										
25	25	9	1	35	71.4%	24	0	24	100.0%	
26	26	9	0	35	74.3%	25	0	25	100.0%	
27	33	2	0	35	94.3%	31	1	32	96.9%	
28	17	18	0	35	48.6%	16	1	17	94.1%	
29	1	31	2	34	2.9%	1	0	1	100.0%	
申込み										
30	32	3	0	35	91.4%	28	2	30	93.3%	
31	9	26	0	35	25.7%	8	1	9	88.9%	
32	34	1	0	35	97.1%	29	3	32	90.6%	
33	35	0	0	35	100.0%	32	2	34	94.1%	
健診の実施										
34	26	9	0	35	74.3%	25	1	26	96.2%	
35	12	23	0	35	34.3%	9	3	12	75.0%	
36	35	0	0	35	100.0%	33	2	35	94.3%	
37	7	26	0	33	21.2%	5	2	7	71.4%	
38	33	2	0	35	94.3%	28	2	30	93.3%	
39	35	0	0	35	100.0%	33	2	35	94.3%	
40	35	0	0	35	100.0%	31	4	35	88.6%	
41	22	11	2	35	62.9%	20	1	21	95.2%	
42	8	26	1	35	22.9%	8	0	8	100.0%	
情報管理										
43	25	10	0	35	71.4%	21	2	23	91.3%	
44	4	31	0	35	11.4%	4	0	4	100.0%	
その他										
45	29	6	0	35	82.9%	27	2	29	93.1%	
46	1	33	0	34	2.9%	1	0	1	100.0%	
47	10	25	0	35	28.6%	10	0	10	100.0%	